

令和6年7月10日

研究に関するホームページ上の情報公開文書

研究課題名：

市中病院（南生協病院）における尿培養結果の経年的変化の検討

本研究は藤田医科大学の医学研倫理審査委員会で審査され、学長の許可を得て実施しています。

1．研究の対象

2016年4月1日～2021年3月31日に南生協病院で尿培養結果が陽性となった患者

2．研究目的・方法・研究期間

目的：近年、単純性膀胱炎の主な起炎菌である大腸菌のレボフロキサシン（LVFX）耐性及び、ESBL（extended-spectrum β -lactamase）産生大腸菌が増加傾向であり、治療薬選択に苦慮する時代になってきている。

2023年にJAID/JSC感染症治療ガイドが発刊され、治療薬が推奨され、推奨薬における起炎菌の薬剤感受性結果を検討した。

主要評価項目：単純性膀胱炎の起炎菌の薬剤感受性結果

副次評価項目：LVFX耐性大腸菌や、ESBL産生大腸菌の比率

方法：南生協病院を受診し、尿培養結果が陽性となった患者

研究期間：倫理審査委員会承認日～2028年3月31日

今後も経年変化を検討するために利用する予定である。

3．研究に用いる試料・情報の種類

情報及び試料：電子カルテ上の診療情報

個人情報の取り扱い

他施設で匿名化をして、試料・情報だけを申請者の施設が受け取る

匿名化の時期：研究開始時 対象者の名前を識別コードに置き換える

対応表の作成の有無：有

作成・管理する者：南生協病院

対応表については、南生協病院で作成、保管を行う

4．外部への試料・情報の提供：なし

5．研究組織

本学の研究責任者：藤田医科大学 腎泌尿器外科 教授 石川清仁

研究分担者：藤田医科大学 腎泌尿器外科 講師 糠谷拓尚

試料・情報の収集。提供を行う機関：総合病院南生協病院

6．研究資金、人的・物的とその他の支援、利益相反の開示

使用する研究費は本学内の研究費です。企業等から研究資金や物的・人的な支援を受けません。研究責任者とそのグループに本研究に係わる企業等との経済的な利害関係はありません。藤田医科大学利益相反委員会から承認を得るとともに、そのマネジメントを継続的に受けて、本研究の公正性を保ちます。

7．除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

藤田医科大学 腎泌尿器外科学講座

担当者：糠谷拓尚

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-98 電話 0562-93-9257